

船舶事故等調査報告書

平成25年2月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第20号
事故等種類	浸水
発生日時	平成24年4月26日（木） 20時00分ごろ
発生場所	沖縄県宮古島市下地島西方沖 下地島空港管制塔から真方位274° 9.9海里付近 （概位 北緯24° 50.3′ 東経124° 58.2′）
事故等調査の経過	平成24年5月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット <sup>ソフィア</sup> Saphia、11トン
船舶番号、船舶所有者等	235-36086 沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	舵頭材軸封部品のリングセットとそれを押さえるカバーの破損
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、ヨットレースに参加して平成24年4月26日17時00分ごろ宮古島市宮古島海中公園沖を出航し、台湾の基隆市に向けて約9ノットの速力で西進中、20時00分ごろビルジが増えたので、その原因を調査したところ、舵頭材軸封部付近からの浸水を認めた。 船長は、航行を断念して宮古島市に向けて機走中、浸水が続いてバッテリーに海水が漬かり、機関が自停したため、僚船によりえい航されて宮古島市平良港に入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 4、視界 良好
その他の事項	本船は、入港後、修理業者による調査が行われ、舵頭材軸封部品のリングセットとそれを押さえるカバーの破損が判明した。 船長は、ヨットレースの開催の約1か月前に舵頭材軸封部付近からの浸水を認めたが、しばらくすると浸水が止まったので、大丈夫だと思い、修理業者に浸水箇所を修理させていなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、下地島西方沖を西進中、船長が舵頭材軸封部の浸水箇所を修理していなかったことから、航行中に舵頭材軸封部付近から浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、下地島西方沖を西進中、船長が舵頭材軸

	封部の浸水箇所を修理していなかったため、航行中に舵頭材軸封部付近から浸水したことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船長は、定期的に舵頭材軸封部を点検し、異常を認めたときは、確実に修理を行うこと。</li></ul>